

イヤイヤ期について

にこにこ通信 11月号

子育てはなかなか親の思い通りにならないものです。

子どもは、1歳くらいをすぎると自分の意志が芽生え、いろいろなことを自分でやりたがり、うまくできずに泣いたり、怒ったりして親を困らせることがあります。事故や危険に注意しつつ、やりたいことができるようにまわりの大人が手助けをして、自分でできたという満足感を満たしてあげましょう。

2歳になってくると、できると思ったのにうまくいかない、自分の気持ちを言葉でうまく伝えられないもどかしさをイヤイヤで伝えてきます。イヤイヤ期の失敗や成功の経験は、その後の自立につながっていきます。親が、予定していても、その通りにいかないことがあるので時間に余裕を持ち、子どもの気持ちに寄り添うようにしましょう。子どもは、「できる」という根拠のない自信を強く持っているので、親の手助けを嫌がりますが、「どれどれ、見せて。」と言いながらさりげなくサポートをします。また、「できるようになったね。」「上手になったよ。」「かっこいいね。」などの励ましの言葉をたくさんかけてあげましょう。これらのやり取りから自分の思いを表現する言葉を知り、3歳頃には、その言葉を使って表現するようになってきます。

子どもの行動に悩んだり、どうしてもイライラが続いたりする時は、子育てコーディネーターに是非、ご相談ください。